

スタートアップ支援 複数主体の取り組みへ 助成制度を創設

問 産業政策にはスタートアップ支援が重要と考えるが市の見解は。

答 本市は明石商工会議所等と連携し、創業者に対し準備期から安定期まで成長段階に応じた支援を行っている。令和6年度からは新商品や販路開拓等に取り組む事業者に対し経費の補助を行うチャレンジ・スタートアップ事業者支援事業を実施している。8年度からは民間企業や市民団体など複数の主体による取り組みを応援するため、あかし共創プラットフォーム市民提案助成金を創設した。58件と多くの申請があり、空き家の適正管理等、ビジネスで地域課題の解決を目指す取り組みも提案されている。今後は支援対象者へのフォローアップについて、調査研究していく。

開館から34年 市立文化博物館

今後の在り方は

問 明石市立文化博物館（ぶんぱく）の在り方について聞く。

答 開館から34年が経過した文化博物館は施設の老朽化等さまざまな課題が生じており、令和6年8月に果たすべき役割や取り組みに関する検討会を設置した。その提言に基づき、現在検討中の次期博物館運営体制と合わせてビジョン等を示す予定だ。



まちごとミュージアムの実現は

自治会の加入促進 新たな条例を 制定しないか

問 明石市協働のまちづくり推進条例では明確にしていない自治会の加入促進に向けた新たな条例を制定しないか。

答 自治会は住民主体のまちづくりに不可欠な存在だが、社会環境の変化に伴い、役員の担い手不足や加入率低下等の課題が生じており、

持続可能な農業支援策の実現へ

農地集約やスマート農業導入を推進

問 持続可能な農業支援策について聞く。

答 本市は10アール以下の小さい水田が多く、30アール以下の小規模農家が大半を占めている。水田整備やパイプラインの未整備地域は、生産性が低く、水入れや草刈り等が大きな負担となっている。

災害時に備え トイレカー導入

市の見解は

問 災害時のトイレ問題は、脱水症やエコノミー症候群などを引き起こし、災害関連死の大きな要因となる。災害用トイレの備蓄状況と災害用トイレカーの導入について聞く。

答 本市は、簡易トイレや障害者用仮設トイレ等を備蓄倉庫や指定避難所である小・中学校に保管している。大型トイレカーは、価格が約1500万円であり、国の補助金の活用も踏まえ検討したが、維持



静岡県小山町の大型トイレカー

消防団の活動

災害の多様化に 役立つ整備を

問 多様化している災害に備え、消防団の車両等の更新やドローンを活用した市と消防団の合同訓練について市の考えを聞く。

答 消防団車両は道路が狭い等、車両の進入が困難な実情に合わせ、従来のトラックタイプから小型のワンボックスタイプに変更している。小型で運転しやすく、火災時だけでなく、水防活動時の土のうや資機材等の搬送が可能である。今後も更新・配備は地元の要望を聞き、消防団と情報共有等を行い整備していく。

今年度市は、上空からの状況把握が有効なドローン配備と操縦者の養成を進め、災害対応に活用する予定だ。ドローンからの映像を共有活用できる訓練に消防団員も参加してもらい、有事の際の連携強化を図っていく。

議会ポスターデザイン決定
「明るく未来へのとびらを開くようなデザイン」「明石市議会について新しい気づきを与えるようなデザイン」「より多くの方が市議会の傍聴にきたい」と思えるようなデザインをテーマに、年4回の議会開催をお知らせするポスターのデザインを市内に在住または在学・在勤している人から募集しました。39人の応募があり、全議員で選考し、優秀賞4点を決定しました。公共施設や自治会掲示板、JRや山陽電車の駅等に掲示します。

令和8年6月議会



兵庫県立明石高等学校2年
いのうえ みみ 井上 深美さん

令和8年9月議会



兵庫県立明石城西高等学校3年
おばな あゆむ 尾花 歩さん

令和8年12月議会



明石市立清水小学校3年
みやもと みゆう 宮本 心優さん

令和9年3月議会



兵庫県立明石高等学校2年
おかだ しあこ 岡田 詩亜子さん